

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月5日

上場会社名 株式会社フジシールインターナショナル
 コード番号 7864 URL <http://www.fujiseal.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役経営企画担当
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

(氏名) 岡崎 成子
 (氏名) 紀 典行
 配当支払開始予定日

TEL 03-5208-5902
 平成20年12月1日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	49,432	—	4,134	—	4,129	—	2,687	—
20年3月期第2四半期	49,467	6.6	3,978	△14.1	3,997	△19.6	2,340	△21.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	91.54	—	—	—
20年3月期第2四半期	79.02	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円	百万円	円		
21年3月期第2四半期	85,606	—	49,238	—	57.5	1,677.24
20年3月期	81,632	—	47,367	—	58.0	1,613.49

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 49,238百万円 20年3月期 47,367百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
21年3月期	—	15.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	95,000	3.3	6,500	20.7	6,500	29.3	4,000	64.5	143.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

上記の1株当たり当期純利益は、平成20年11月5日開催の取締役会決議に基づく自己株式取得による影響を考慮しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 30,080,978株 20年3月期 30,080,978株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 724,362株 20年3月期 724,062株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 29,356,823株 20年3月期第2四半期 29,799,232株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月14日発表の連結業績予想は修正していません。なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高494億32百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益41億34百万円（前年同期比3.9%増）、経常利益41億29百万円（前年同期比3.3%増）、四半期純利益26億87百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

所在地別セグメントの業績は以下のとおりであります。

（国内）

シュリンクラベルは、第1四半期に引き続き第2四半期においても飲料向け製品の販売数量が増加したことにより売上高は前年同期比4.4%増となりました。またソフトパウチは、パッカー戦略が奏功して躍進し、売上高は前年同期比17.5%増となりました。タックラベルは、電池関係や新規顧客への販売増加が寄与して第2四半期では増収となりましたが、第1四半期から引き続いて大手ブランドオーナー向けキャンペーンタックの減少を吸収するまでには至らず前年同期比2.4%減となりました。機械はパッカー向けシュリンクラベラーの減少などにより減収となり売上高は前年同期比25.1%減となりました。

損益面では、昨年より大阪工場閉鎖など合理化を進めてきたことで人件費や倉庫料などの経費を削減出来ました。また、機械売上が前述の通り減少したことや、第1四半期に引き続き原材料費高騰の影響により減益となりました。

その結果、国内売上高350億41百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は30億80百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

（北米）

第2四半期において、その他ラベルが食品・乳製品向けに販売が増加し、現地通貨ベースでは売上高3.7%増となりました。シュリンクラベルは、飲料大手ブランドオーナーへの販売が順調に推移したことで現地通貨ベースでは売上高7.0%増となりました。しかしながら、為替換算後ではレート変動により前年同期を大きく下回る結果となりました。

損益面では、第2四半期シュリンクラベル、その他ラベルともに販売増となりましたが、原材料費高騰によるコスト増加、及び戦略的設備投資による減価償却費増加を吸収するには至りませんでした。

その結果、北米売上高は76億69百万円（前年同期比7.8%減、現地通貨ベース6.8%増）、営業利益は5億37百万円（前年同期比25.6%減、現地通貨ベース13.8%減）となりました。

（欧州）

第2四半期においては、シュリンクラベルの販売数量は第1四半期に引き続き増加し、現地通貨ベースでは売上高10.6%増となりました。しかしながら、その他紙ラベルの生産が終了したこと、また機械販売が検収の遅れなどにより現地通貨ベースで売上高は9.8%減となりました。

損益面では、シュリンクラベルの売上増加による利益貢献及びポーランド工場の生産性向上などにより前年同期比で大幅に改善されました。

その結果、欧州売上高は82億40百万円（前年同期比3.7%増、現地通貨ベース2.1%増）、営業利益は5億13百万円（前年同期は86百万円の営業損失）となりました。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。したがって、当第2四半期連結累計期間の連結損益計算書と前年同期の連結損益計算書とは作成基準が異なるため、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は856億6百万円となり、前連結会計年度末比39億73百万円の増加となりました。これは、現金及び預金の11億17百万円増加と、受取手形及び売掛金が売上高の季節的な要因により24億50百万円増加したほか、有形固定資産が主に北米地域における生産設備の取得により8億10百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は363億68百万円となり、前連結会計年度末比21億2百万円の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加30億36百万円及び未払法人税等が10億2百万円増加したほか、短期借入金が17億82百万円減少したこと等によるものであります。

純資産額合計は492億38百万円となり、前連結会計年度末比18億70百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が20億74百万円増加した一方、在外連結子会社の換算レートの変動による為替換算調整勘定が2億32百万円減少したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、66億85百万円の収入となりました。これは税金等調整前四半期純利益41億円を計上し、減価償却費24億51百万円及び仕入債務の増加額31億円等による収入と売上債権の増加額26億32百万円と利息の支払額1億51百万円及び法人税等の支払額2億10百万円等の支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、37億35百万円の支出となりました。これは国内及び北米における設備投資に伴う有形固定資産の取得等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億13百万円の支出となりました。これは長期借入金の純増加額1億65百万円及び配当金の支払4億40百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて28億10百万円増加し、58億89百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績については、経済環境により消費が低迷し売上高が減少する可能性及び為替レートの変動などによる業績への影響が予想されます。また、アメリカンフジシールにおける生産体制再構築の一環として2008年12月を目前にフェアフィールド工場を閉鎖しパーズタウン工場への統合に向けて準備を進めており、現時点での概算額3億円程度の特別損失の発生を見込んでおりますが、第2四半期に引き続きお客様への提案の強化や生産性の向上、また経費削減活動を促進することなどから、平成20年5月14日に公表した連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

（一般債権の貸倒見積高の算定方法）

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等を使用しております。

（法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法）

法人税等の納付税額の算定に関しては、一部の海外連結子会社について加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測などを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

（たな卸資産）

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ4,880千円減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は11,472千円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ72,618千円増加しております。

④ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引続き採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

（追加情報）

当社及び国内連結子会社は、平成20年度の法人税法改正を契機に有形固定資産の耐用年数を見直し、第1四半期連結会計期間より、機械装置の耐用年数を主として11年から10年に変更しております。これにより、従来と同様の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ78,378千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,075,143	4,958,042
受取手形及び売掛金	25,506,463	23,056,094
商品及び製品	3,859,190	3,687,587
原材料及び貯蔵品	2,292,014	2,000,759
仕掛品	1,514,423	2,125,472
その他	2,955,337	2,749,242
貸倒引当金	△70,378	△109,260
流動資産合計	42,132,194	38,467,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,437,019	9,588,578
機械装置及び運搬具（純額）	19,859,876	19,519,268
土地	4,665,027	4,360,019
建設仮勘定	2,612,661	3,350,736
その他（純額）	674,269	620,133
有形固定資産合計	38,248,854	37,438,737
無形固定資産		
のれん	300,749	480,754
その他	879,802	934,620
無形固定資産合計	1,180,551	1,415,375
投資その他の資産		
投資有価証券	2,836,963	2,931,648
その他	1,454,348	1,596,180
貸倒引当金	△246,734	△217,319
投資その他の資産合計	4,044,578	4,310,509
固定資産合計	43,473,985	43,164,622
資産合計	85,606,179	81,632,560

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,310,003	15,273,072
短期借入金	7,617,101	9,399,339
1年内返済予定の長期借入金	923,635	970,691
未払金	2,005,858	2,756,683
未払法人税等	1,390,579	387,696
賞与引当金	888,961	793,501
その他	3,273,467	2,897,510
流動負債合計	34,409,608	32,478,496
固定負債		
長期借入金	928,366	761,692
退職給付引当金	765,166	777,911
その他	264,891	247,259
固定負債合計	1,958,424	1,786,863
負債合計	36,368,033	34,265,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,990,186	5,990,186
資本剰余金	6,233,090	6,233,090
利益剰余金	37,685,912	35,611,439
自己株式	△1,982,314	△1,981,706
株主資本合計	47,926,875	45,853,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	147,795	156,394
年金債務調整額	△464,435	△502,460
為替換算調整勘定	1,627,911	1,860,256
評価・換算差額等合計	1,311,271	1,514,190
純資産合計	49,238,146	47,367,200
負債純資産合計	85,606,179	81,632,560

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	49,432,344
売上原価	39,415,183
売上総利益	10,017,160
販売費及び一般管理費	5,883,036
営業利益	4,134,124
営業外収益	
受取利息	1,774
受取配当金	16,804
為替差益	20,991
廃棄物リサイクル収入	68,099
その他	43,899
営業外収益合計	151,569
営業外費用	
支払利息	135,535
持分法による投資損失	9,687
その他	10,845
営業外費用合計	156,069
経常利益	4,129,625
特別利益	
固定資産売却益	11,764
貸倒引当金戻入額	577
移転補償金	9,343
その他	1
特別利益合計	21,685
特別損失	
固定資産除売却損	36,883
減損損失	10,774
その他	3,472
特別損失合計	51,130
税金等調整前四半期純利益	4,100,179
法人税、住民税及び事業税	1,560,551
法人税等調整額	△147,758
法人税等合計	1,412,793
四半期純利益	2,687,386

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,100,179
減価償却費	2,451,351
減損損失	10,774
のれん償却額	68,974
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,424
賞与引当金の増減額 (△は減少)	96,151
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△53,992
持分法による投資損益 (△は益)	9,687
固定資産除売却損益 (△は益)	25,119
受取利息及び受取配当金	△18,578
支払利息	135,535
為替差損益 (△は益)	26,686
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,632,502
たな卸資産の増減額 (△は増加)	17,690
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,100,580
未払金の増減額 (△は減少)	△475,900
その他	172,062
小計	7,029,396
利息及び配当金の受取額	17,791
利息の支払額	△151,220
法人税等の支払額	△210,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,685,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,754,190
有形固定資産の売却による収入	12,608
無形固定資産の取得による支出	△55,350
投資有価証券の取得による支出	△10,188
その他	71,334
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,735,786
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	499,478
短期借入金の返済による支出	△425,753
長期借入れによる収入	638,520
長期借入金の返済による支出	△472,655
自己株式の取得による支出	△608
配当金の支払額	△440,353
その他	△12,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	74,605
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,810,452
現金及び現金同等物の期首残高	3,079,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,889,863

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループは、シュリンクラベル・タックラベル及びソフトパウチの製造販売、包装機械の製造販売等を事業内容としておりますが、これらの製品は一連のものであり、システム販売をしております。また、採算性についてもシステムとして管理しており、単一の事業と考えているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	国内 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	34,136,423	7,654,384	7,641,536	49,432,344	—	49,432,344
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	905,240	14,687	598,695	1,518,622	(1,518,622)	—
計	35,041,664	7,669,071	8,240,231	50,950,967	(1,518,622)	49,432,344
営業費用	31,961,628	7,131,500	7,726,546	46,819,676	(1,521,456)	45,298,220
営業利益	3,080,035	537,570	513,684	4,131,290	2,833	4,134,124

(注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度を考慮して決定しております。

2. 各区分に属する国は次のとおりであります。

北米：アメリカ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、ポーランド

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（千円）	7,684,741	7,473,401	523,730	15,681,873
II 連結売上高（千円）				49,432,344
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	15.5	15.1	1.1	31.7

(注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度を考慮して決定しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

北米：アメリカ、カナダ、メキシコ

欧州：欧州全域

その他：東南アジア、インド、オーストラリア他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		49,467,173	100.0
II 売上原価		39,303,348	79.5
売上総利益		10,163,825	20.5
III 販売費及び一般管理費		6,185,820	12.5
営業利益		3,978,004	8.0
IV 営業外収益			
1. 受取利息	9,240		
2. 受取配当金	12,384		
3. 為替差益	14,313		
4. 持分法による投資利益	67,728		
5. その他	85,550	189,217	0.4
V 営業外費用			
1. 支払利息	159,155		
2. その他	10,637	169,793	0.3
経常利益		3,997,428	8.1
VI 特別利益			
1. 固定資産売却益	1,054	1,054	0.0
VII 特別損失			
1. 固定資産除売却損	6,588		
2. 割増退職金	58,065		
3. 海外年金制度改正に伴う 過去勤務債務償却額	115,393		
4. その他	185	180,232	0.4
税金等調整前中間純利益		3,818,250	7.7
法人税、住民税及び事業税	1,479,094		
法人税等調整額	△1,600	1,477,493	3.0
中間純利益		2,340,757	4.7

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	3,818,250
減価償却費	2,319,843
のれん償却額	115,667
貸倒引当金の増減額 (減少:△)	△62,096
賞与引当金の増減額 (減少:△)	76,905
退職給付引当金の増減額 (減少:△)	△346,437
持分法による投資利益	△67,728
固定資産売却益	△1,054
固定資産除売却損	6,588
受取利息及び受取配当金	△21,624
支払利息	159,155
為替差損益 (差益:△)	△20,362
売上債権の増減額 (増加:△)	△3,632,598
たな卸資産の増減額 (増加:△)	△519,255
仕入債務の増減額 (減少:△)	2,911,160
未払金の増減額 (減少:△)	270,846
未払消費税等の増減額 (減少:△)	80,829
その他	418,304
小計	5,506,393
利息及び配当金の受取額	21,754
利息の支払額	△159,516
法人税等の支払額	△1,751,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,617,276

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△9,220
有形固定資産の取得による支出	△2,877,761
有形固定資産の売却による収入	7,411
貸付けによる支出	△24,103
貸付金の回収による収入	126,703
無形固定資産の取得による支出	△45,183
長期前払費用の増加に伴う支出	△4,245
事業譲受による支出	△811,810
その他	109,178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,529,032
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	875,680
短期借入金の返済による支出	△24,688
長期借入れによる収入	900,000
長期借入金の返済による支出	△671,455
自己株式の取得による支出	△1,902,236
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,286
配当金の支払額	△450,862
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,281,848
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	45,306
V 現金及び現金同等物の増減額 (△減少額)	△1,148,297
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,720,885
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,572,587

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループは、シュリンクラベル・タックラベル及びソフトパウチの製造販売、包装機械の製造販売等を事業内容としておりますが、これらの製品は一連のものであり、システム販売をしております。また、採算性についてもシステムとして管理しており、単一の事業と考えているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	国内 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	33,846,082	8,288,610	7,332,480	49,467,173	—	49,467,173
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	646,031	29,137	617,205	1,292,374	(1,292,374)	—
計	34,492,114	8,317,748	7,949,685	50,759,547	(1,292,374)	49,467,173
営業費用	31,143,362	7,594,811	8,035,726	46,773,900	(1,284,731)	45,489,168
営業利益又は営業損失（△）	3,348,752	722,936	△86,040	3,985,647	(7,642)	3,978,004

[海外売上高]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（千円）	8,289,296	7,225,512	805,763	16,320,572
II 連結売上高（千円）				49,467,173
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	16.8	14.6	1.6	33.0

6. その他の情報

販売実績

品目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
	売上高 (千円)	構成比 (%)
シュリンクラベル	32,485,100	65.7
タックラベル	4,554,934	9.2
その他ラベル	1,726,767	3.5
ソフトパウチ	2,396,052	4.9
機械	4,519,400	9.1
その他	3,750,089	7.6
合計	49,432,344	100.0

「参考資料」

販売実績

品目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	売上高 (千円)	構成比 (%)
シュリンクラベル	31,567,296	63.8
タックラベル	4,667,565	9.4
その他ラベル	2,199,591	4.5
ソフトパウチ	2,040,616	4.1
機械	5,532,256	11.2
その他	3,459,846	7.0
合計	49,467,173	100.0